

【Course Description】

- ① 日常生活のタスクを取り上げ、どのように達成すればいいか考え、体験する。
- ② 日本語のフォーマル・インフォーマルな場面で、目的の異なるディスカッションを行う。
ディスカッションを通して、どうすれば自分の意見・質問・応答が積極的かつ効果的にできるかを考える。また、その準備を通して物事を多角的に見る力を養成することも目指す。
(* トピックは、学生の興味があるものを、相談の上決めるようにしたい)

【Class Goals】

- 1) 場面、相手、目的、内容にあった適切な表現で人と会話ができるようになる。
- 2) フォーマル・インフォーマルな場面で、自分の意見を述べたり、他の人との意見を調整したりしながら話し合うことができる。

【Course Schedule】

- 【第1回】シラバス説明 クラス分け
自分の感じていることを言葉にする①
- 【第2回】自分の感じていることを言葉にする②
- 【第3回】物事やストーリーを詳しく説明する①
- 【第4回】物事やストーリーを詳しく説明する②
- 【第5回】自分の価値観や意見を述べる①
- 【第6回】自分の価値観や意見を述べる②
- 【第7回】ディスカッション1 (インバケット形式)
- 【第8回】ディスカッション2 (フリートーク形式) 一①
- 【第9回】ディスカッション2 一②
- 【第10回】ディスカッション2 一③
- 【第11回】ディスカッション3 (ケーススタディー形式) 一①
- 【第12回】ディスカッション3 一②
- 【第13回】ディスカッション3 一③
- 【第14回】インタビュー
- 【第15回】まとめ

* 前期・後期ではトピックが異なる。

【Preparation for Class】

教室での活動以外に、各自の課題のための準備の時間(調べ物をする・練習するなど)が必要である。

【Review of Class】

自分の課題に関する教師からのフィードバックを確認し、変更・訂正などを行う。
発表について自己評価をする。

【Remarks for Class】

授業内でも、各自が自律的に進めていく姿勢が求められる。出席しているだけでは、何も進まない。◎ グループワークでは、それぞれが責任を持って協力しあうこと。

【Texts】

授業時に適宜ハンドアウトを配布する

【Reference Books】

クラスで適宜指示する

【Evaluation Criteria】

授業参加度 30%
課題 65%
最終インタビュー 5%
(授業の欠席が全体の1/3を超える場合単位は与えられない)

【Notes】

実践日本語1-2、2-2を1年通して履修する学生がいる場合は、学生のレベルによって授業内容を考慮する。